



夏季食中毒予防注意報 発令中！！

～腸管出血性大腸菌(0-157など)の発生が多発しています～

高温多湿のこの時期は、腸管出血性大腸菌やカンピロバクターなどの細菌による食中毒が多くなります。腸管出血性大腸菌に関しては、県内では今年に入ってすでに8件の報告があり(昨年同期0件/年)、7月～9月に発生が最も多くなる傾向があります。食中毒の発生を防止するために、食中毒予防の3原則を心がけましょう。

詳しくはコチラ→<http://www2.pref.fukui.lg.jp/press/atfiles/paab14018414436A.pdf>

食中毒予防の3原則

清潔

細菌をつけない

迅速

細菌を増やさない

加熱

細菌をやっつける

7月28日～8月3日は肝臓週間です

日本における肝炎ウイルス感染者はB型肝炎110～140万人、C型肝炎190～230万人と推定されています。ウイルスによる肝炎は慢性化しやすく、自覚症状がないまま進行し続けるため、肝硬変や肝がんに進展することもあります。

無料で肝炎ウイルス検査を受けられる機関もありますので、検査を受けたことがない方は、一度は検査を受けましょう！



当センターでは、
毎月第1・3月曜日 午前9時～午前10時30分にHIV・肝炎ウイルス検査を行っています。

肝臓の声に耳を傾けてみましょう

※無料で検査を受けることができる機関はコチラ
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/kanen-kensa.html>

7月は熱中症予防強化月間です

気温がそれほど高くなくても、湿度や照り返し等の条件によっては熱中症になる危険も高くなります。特に、高齢者や小児、高温環境下での労働、運動時は熱中症になりやすく、注意が必要です。



- ・暑さを避ける
- ・こまめな水分・塩分補給を心がける
- ・作業中に少しでも体調が悪く感じた時は、無理せず涼しい場所で休憩をとる

福井県感染症発生動向調査速報

第23週 H26年6月2日～第26週 H26年6月29日

2類:結核 11名(0名)

3類:腸管出血性大腸菌感染症 3名(0名)

4類:レジオネラ症 3名(1名)、A型肝炎 1名(0名)

5類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名(0名)、侵袭性肺炎球菌感染症 1名(0名)、後天性免疫不全症候群 1名(0名)

* ()内は若狭管内の発生

[発信者] 若狭健康福祉センター
地域保健課 宮内・宮下

TEL: 0770-52-1300 FAX: 0770-52-1058

メール: w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp

※ご意見ご感想をお待ちしています。